



武州の伝統 天然発酵建て藍 百年の極み  
創業大正三年 野川染織工業株式会社

2020年12月18日

報道関係各位

野川染織工業株式会社  
代表取締役 野川雅敏

## News Release

### 埼玉150周年と製藍事業の立役者・渋沢栄一翁に想いを馳せ、 藍染職人の伝統神事『初染め』を本邦初公開

藍染めの里・羽生市に本社を置く野川染織工業株式会社（創業：1914年 代表取締役：野川雅敏）は、埼玉150周年と製藍事業の立役者・渋沢栄一翁に想いを馳せ、創業以来百年以上にわたり続けてきた職人の神事にして正月の風物詩『初染め』を、広く一般に公開することとしました。

かつて武州（ぶしゅう）とよばれた埼玉県羽生市は、江戸時代から続く藍の糸染めの産地です。埼玉県深谷市出身の事業家・渋沢栄一の家業の藍玉づくりはこの地場産業の核となる事業でした。

この地域には最盛期、約300軒の紺屋がありましたが、現在は市内にわずか4社のみとなりました。その1社である野川染織工業株式会社は、毎年仕事始めの1月2日に創業以来続く『初染め』とよばれる伝統行事を行っています。

この『初染め』は、人型に見立てて切った和紙を限界まで濃い勝色に染め上げ、1年間藍に向き合う職人の決意を神前で誓う伝統行事として、当社の風物詩となってきた神事です。

来年は埼玉県150周年であり、製藍事業に多大な貢献をされた渋沢栄一翁を主人公とする大河ドラマが放送される記念すべき年。これまで長く事業を続けられたことに感謝の意を表すとともに、県内伝統産業の魅力と用の美を広く多くの方に知ってもらうべく、世界遺産として高く評価された小川和紙を用いて、初染めを行います。通常は一般公開されない神事ですが、本邦初公開に踏み切ることで、藍染めの里羽生市と県内伝統産業の維持と発展に寄与することを願っています。詳細は下記のとおり。



記

#### ■ 野川染織工業株式会社 第107回 初染め式

日時：2021年1月2日(日) 8:00～11:00

場所：埼玉県羽生市須影 878 野川染織工業株式会社 甕場

内容：和紙を何度も藍に浸し、濃い藍色に染め上げ、工房内神棚に奉納

問合せ・取材担当

野川染織工業株式会社 製販企画部部长 野川雄気

住所：〒348-0033 埼玉県羽生市須影 878

TEL：048-561-0368 FAX：048-563-2323

E-mail：bushu.nogawa.5@gmail.com

http://www.nogawasenshoku.com/



### <武州の藍染めについて>

かつて武州（ぶしゅう）とよばれた埼玉県羽生市は、江戸時代から続く藍の糸染めの産地です。近くを流れる日本三大暴れ川の一つ坂東太郎・利根川の中流域に位置し、洪水や氾濫が多い地域であったことから、豊かな土壌で育つ蓼藍の生育に適しており、藍を中心とした一大産地へと発展しました。同地域の埼玉県深谷市出身の**実業家・渋沢栄一も藍染めの原料の藍玉づくりを家業**とし、その商才を発揮したと言われています。しかし、**最盛期は約 300**



軒あった糸染めの紺屋も化学染料や外国産に押され、現在は市内に**わずか 4 社のみ**となりました。古くは農作業着用の生地を生産しており、臭いがつきにくいなどの**様々な効能**を持つその素材は過酷な農作業の必需品でしたが、農業の機械化により需要は消滅、活路を剣道衣類用の生地へと変更し、現在同市では、国産剣道衣類・剣道具用生地の約 8 割を製造しています。



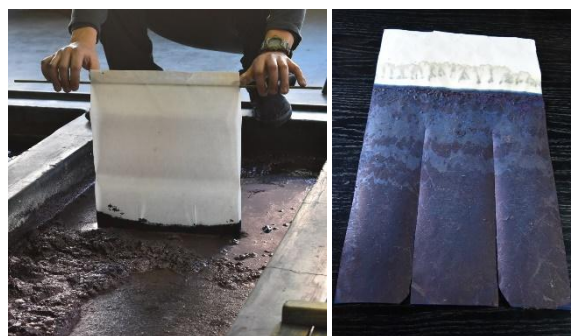
埼玉が誇る伝統産業の 1 つとして、その歴史と技術を次世代に繋ぐため、官民一体となって、様々な挑戦を行っています。

### <野川染織工業と初染め>

野川染織工業株式会社（本社：埼玉県羽生市 代表取締役：野川雅敏）は、創業 1914 年（大正三年）。天然発酵にこだわった藍で糸を染め、織機で生地を織り、裁断・縫製までを自社にて一貫して行う全国でも稀有な会社です。毎年 1 月 2 日には『初染め』と呼ばれる、**創業以来毎年欠かさない伝統行事**を行っています。

『初染め』は、人型に見立てて切った和紙を未使用の藍甕に繰り返し浸し、深く濃い色に染め上げます。限界の濃色である勝色まで染める理由は、新しい 1 年も生きている藍の世話をし、育て、慈しむ、その心意気を変えず、絶対に色褪せないぞ、という**職人一同の決意を神前で誓う**ためです。こうして染めた和紙を、神棚に奉納し、1 年の藍の健康を祈ります。この精神もまた、**次世代にも変わらず、守り伝えるべき埼玉県の伝統**です。

2021 年は埼玉県 **150 周年**です。今一度、**埼玉県が誇る伝統産業の魅力**を伝えるべく、ユネスコ世界遺産である埼玉県小川町の細川和紙を用いた初染めの様子を初公開いたします。





Bushu Process

# 武州の伝統 天然発酵建て藍 百年の極み 創業大正三年 野川染織工業株式会社

## <初染め当日のタイムスケジュール>

**8:00**

### 集合

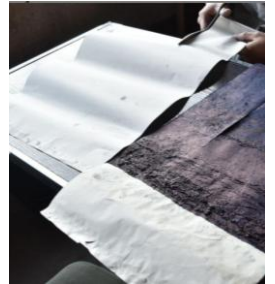
いつものように  
藍の状態を確認し、  
気持ちを整えます。



**8:00 - 8:30**

### 和紙の準備

神棚から前年に染めた和紙を下げ、  
本年分を切って準備します。  
和紙は振袖姿の人型を模しています。



**8:30 - 8:50**

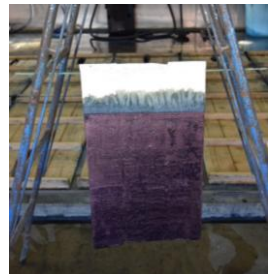
### 初染め 1回目

初染めは染め(約5分)と乾燥(約15分)の  
工程を繰り返します。  
1回目は和紙の抵抗もあり、  
染まりにくいです。



### <以後、染めと乾燥を8~10回繰り返す>

納得のいく勝色になるまで、染まり具合を  
見極めながら同じ作業を繰り返し行います。



**11:00**

### 神棚に奉納

勝色に染まった和紙を神棚に  
奉納し、手を合わせて感謝し、  
1年間の決意を誓います。

